

令和3年7月7日

令和2年度国立大学法人福島大学の決算等について（速報版）

.はじめに

福島大学の令和2年度決算につきましては、第567回役員会（令和3年6月21日）及び第110回経営協議会（令和3年6月22日）の審議を経て、財務諸表及び決算報告書等を文部科学省に提出いたしました。今後、文部科学省の承認手続を経て、正式に決定される予定です。今回は、速報版としてご報告させていただきます。

ここでは「貸借対照表」と「損益計算書」の概要を紹介します。

（以下、金額、割合とも、端数処理は単位未満切捨てとしています。）

. 貸借対照表

(1) 資産の部

固定資産の建物については、附属特別支援学校衛生対策工事、附属学校情報通信設備改修工事等による増（約7千万円）がありましたが、減価償却の累計がそれ以上に増加したことにより、資産としては約6億円減少しました。また、建設仮勘定の増は、音楽棟耐震改修工事及び金谷川ライフルライン再生（給水設備）工事の着工に伴い発生した前金払分になります。なお、無形固定資産のほとんどが特許権、特許権仮勘定及びソフトウェアです。

建設仮勘定

事業の用に供する有形固定資産を建設した場合における支出額や、当該建設の目的のために充当した材料額等をいう。建設が完成し、当該建設の原価が確定したときは、これを適切な有形固定資産の勘定科目に振り替える。

なお、建設のために支出した手付金、前渡金、または建設のために取得した機械などで保管中のものは、建設仮勘定に含めることとする。

（単位：千円）

科 目	前年度（令和元年度）	当年度（令和2年度）	増 減 額
資産	35,743,279	35,592,566	150,713
固定資産	33,749,636	33,183,024	566,611
土地	18,180,568	18,180,568	0
建物	10,870,331	10,248,500	622,048
構築物	598,708	561,262	37,446
機械装置	2,205	1,787	418
工具器具備品	730,712	660,090	70,622
図書	3,197,484	3,216,330	18,846
その他有形固定資産	37,967	37,967	0
建設仮勘定		151,197	151,197
無形固定資産	26,122	20,003	6,119
投資その他の資産	105,535	105,535	0

流動資産	1,993,643	2,409,542	415,898
現金及び預金	1,217,430	2,186,648	969,218
未収学生納付金収入	44,925	47,192	2,267
たな卸資産	1,084	2,033	948
未収入金	729,574	173,663	555,911
その他の流動資産	628	4	624

(2) 負債の部

固定負債の資産見返負債は、授業料等で購入した資産の減価償却後の残存価額です。長期寄附金債務は、平成28年度から令和3年度まで事業実施予定の再生可能エネルギー寄附講座への寄附に係るもので、令和3年度末に終了することを踏まえ、その見合い分を「流動負債」の「寄附金債務」に振り替えたため減少しています。長期未払金は、学務情報統合システム等各基幹系システム等の長期リース債務です。

流動負債の主な増加要因として、寄附金債務で約4千4百万円、前受金等で約6千9百万円増加していますが、これは、寄附金や受託研究費等の執行残（繰越）によるものです。

また、「未払金等」で約6千8百万円減少していますが、これは、短期リース債務が減少したためです。短期リース債務とは、固定負債の長期未払金にも計上されている各基幹系システム等の賃貸借による令和3年度中に支払う予定の元本の額になります。

資産見返負債

運営費交付金、授業料、補助金、寄附金等により償却資産を取得した場合に計上される負債で、業務の進行に応じて収益化を行うために、固定資産の取得価額相当額の運営費交付金債務等を一旦取り崩してプールしておく勘定。毎事業年度、減価償却相当額を取り崩して収益に振り替え

(単位 : 千円)

科 目	前年度(令和元年度)	当年度(令和2年度)	増 減 額
負債	7,592,155	7,724,007	131,851
固定負債	5,897,212	5,914,235	17,023
資産見返負債	5,758,275	5,875,639	117,363
長期寄附金債務	41,968		41,968
長期未払金	96,967	38,595	58,371
流動負債	1,694,943	1,809,772	114,828
運営費交付金債務	98,818	138,369	39,551
預り補助金等		3,449	3,449
寄附金債務	585,073	628,995	43,922
前受金	37,754	106,871	69,117
預り金等	119,075	146,171	27,096
未払金等	854,222	785,914	68,307

(3) 純資産の部

国の資金による施設整備費補助金を財源とした建物等の資産の減価償却費の増により、資本剰余金が減少しました。

(単位：千円)

科 目	前年度(令和元年度)	当年度(令和2年度)	増 減 額
純資産	28,151,123	27,868,558	282,565
資本金	26,996,452	26,996,452	0
資本剰余金	473,905	110,305	584,211
利益剰余金	680,765	982,411	301,645
積立金	416,540	605,481	188,940
当期末処分利益	264,224	376,929	112,705

. 損益計算書

(1) 経常費用

経常費用のうち主なものは次のとおりです。

(単位：千円)

科 目	前 年 度 (令和元年度)	当 年 度 (令和2年度)	増減額	備 考
経常費用	7,656,562	100%	7,203,460	100%
教員人件費	3,662,500	50.3%	3,609,531	52.2%
職員人件費	1,134,286	15.6%	1,216,987	17.6%
教育経費	981,430	12.8%	1,007,952	14.0%
研究経費	738,760	9.6%	554,734	7.7%
教育研究支援経費	135,166	1.8%	121,674	1.7%
一般管理費	372,167	4.9%	281,823	3.9%

教育経費等

教育経費の増額の主な要因は、附属学校園におけるコロナ関連補助金及び情報機器整備費補助金の執行による消耗品及び備品の購入増等によるものです。

研究経費の減額の主な要因は、コロナの影響により出張件数が減ったため、旅費の執行額が大きく減ったためです。

人件費

業務費のうち最も大きな比率を占めるのが、教職員人件費約48億円で、経常費用の69.8%を占めています。

教員人件費は、約36億円で、前年度比約5千3百万円の減、職員人件費は、約12億円で、前年度比約8千3百万円の増となっています。教員人件費の減額の主な要因は、教退職手当支給額の減によるものです。職員人件費の増額の主な要因は、退職手当支給額の増によるものです。

(2) 経常収益

経常収益のうち主なものは次のとおりです。

(単位：千円)

科 目	前 年 度 (令和元年度)	当 年 度 (令和2年度)	増 減 額	備 考
経常収益	7,856,481	7,518,333	338,148	
運営費交付金収益	3,752,623	3,547,244	205,378	授業料免除(修学支援分)の減
授業料収益	2,221,900	2,213,856	8,043	
入学金収益	313,861	319,322	5,461	入学者数の増
検定料収益	83,230	72,221	11,009	志願者数の減
受託研究収益	400,627	243,724	156,903	
共同研究収益	32,148	44,918	12,769	
受託事業等収益	167,713	107,897	59,816	
補助金等収益	164,185	347,676	183,490	授業料等減免費交付金による増
寄附金収益	170,255	151,195	19,059	
施設費収益	99,020	30,174	68,845	改修工事に伴う費用の減
資産見返負債戻入	291,252	285,863	5,388	
雑益	159,653	154,231	5,422	

運営費交付金収益等

運営費交付金収益は約35億円であり、対前年度比では約2億円の減額となりました。主な要因は、前年度運営費交付金で措置されていた授業料免除（修学支援分）が、令和2年度は補助金での交付となつたため、その分が減少したためです。

補助金等収益が増加した要因は、文科省からの補助金（授業料等減免費交付金）約2億円が増加したためです。

受託研究等受入額

(単位：千円)

科 目	前 年 度 (令和元年度)	当 年 度 (令和2年度)	増 減 額
受託研究	389,559	39 件	302,882
共同研究	35,298	22 件	54,352
受託事業等	169,602	34 件	108,912
奨学寄附金	161,250	690 件	140,363
合計	755,709	785 件	606,509
			1,298 件
			20,887
			608 件
			149,200
			610 件

(3) 経常利益

(単位：千円)

科目	前年度 (令和元年度)	当年度 (令和2年度)	増減額
経常収益	7,856,481	7,518,333	333,148
経常費用	7,656,562	7,203,460	453,102
経常利益	199,918	314,871	114,954

(4) 臨時損失及び臨時利益

(単位：千円)

科目	前年度 (令和元年度)	当年度 (令和2年度)	増減額
臨時損失	2,086	1,167	919
臨時利益	2,086	999	1,087

臨時利益は、固定資産の除却に伴う資産見返運営費交付金等戻入（臨時）等によるものです。

資産見返運営費交付金等戻入（臨時）

運営費交付金及び授業料を財源として取得した償却資産を売却、除却した場合に、未償却残高全額を臨時利益に振り替える場合に計上される。

(5) 当期純利益等

(単位：千円)

科目	前年度 (令和元年度)	当年度 (令和2年度)	増減額
当期純利益（当期末処分利益）	264,224	376,929	112,705

令和2年度は、前年度に続き未処分利益を計上しました。

主な要因は、外部資金間接経費収入の増及び光熱水費の節減等によるものです。

(お問い合わせ先)
 財務課総務決算係 齋藤
 電話：024-548-8016
 メール：finance@adb.fukushima-u.ac.jp